

静岡県および御前崎市による津波対策工事ほか追加工事の
点検および確認について(第108回)

2022年1月24日

本日、当社が実施している津波対策工事ほか追加工事(注1)について、御前崎市の立ち会いの下、静岡県による点検を受けましたので、お知らせします。

今回は、長期安定停止設備のうち、原子炉水位を監視する設備に新たに設置した温度計を確認いただきました。原子炉内の水位監視は、「凝縮槽内水面から水位計までの圧力(図1:P1)」と「原子炉圧力容器内水面から水位計までの圧力(図1:P2)」の圧力差(図1:ΔP)を水位に換算し、監視しています。

福島第一原子力発電所の事故では、炉心損傷によって原子炉格納容器内部の温度が上昇し、凝縮槽および凝縮槽につながる計装配管内の水が蒸発したため、原子炉水位計が正しい値を示していない状態であったと考えられています。

今回、このような事態に備え、水位計の健全性を確認するために自主的に設置した凝縮槽および計装配管の温度を監視する温度計6台(2系統×3台)の据付状況を確認いただきました。本温度計により、凝縮槽および計装配管内部に水が保たれていることを確認することができ、原子炉水位計が機能を発揮している状況であるか確認できます。

静岡県から「長期安定停止設備(原子炉水位を監視する設備に設置した温度計)について、現場確認および書類確認をおこなった。本日の点検で、中部電力の計画どおりに実施されていることを確認した。本日確認した設備は、自主的に設置した設備とのことだが重要な設備であるため、設備の維持管理を実施していただきたい。」との講評をいただきました。

御前崎市から「長期安定停止設備(原子炉水位を監視する設備に設置した温度計)について、現場確認および書類確認をおこなった。本日の点検で、計画どおりに設置されていることを確認した。今後も引き続き、市民の安全・安心のため、安全性対策工事に取り組んでいただきたい。」との講評をいただきました。また、静岡県から「次回の点検は、2022年2月15日に実施予定である。」旨の連絡がありました。

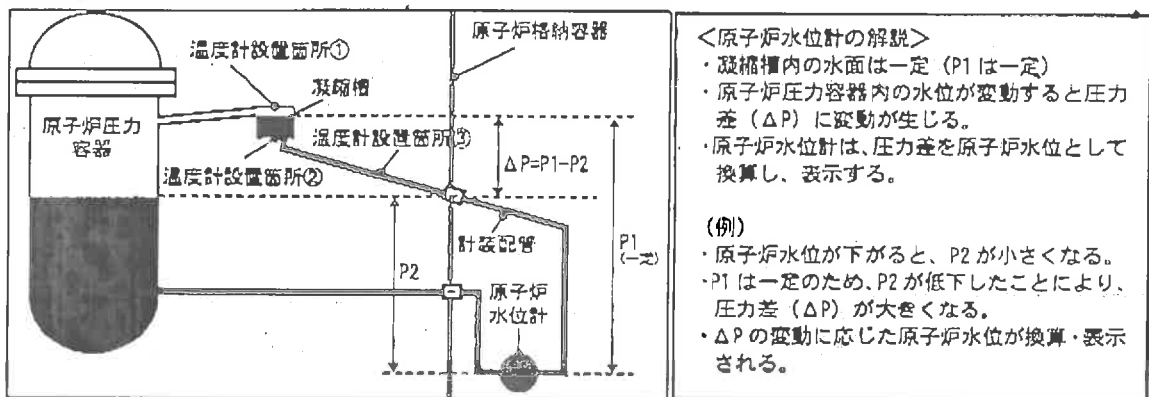


図1 原子炉水位を監視する設備の概要図

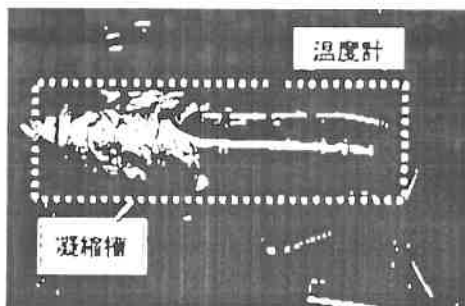
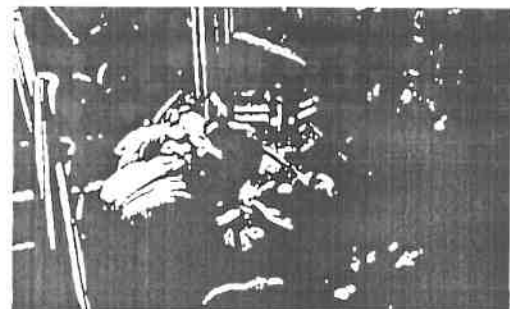


図2 温度計設置箇所①の据付状況



温度計の据付状況を確認いただいている様子

注1 自主的に取り組んできた重大事故対策や、2013年7月に施行された原子力規制委員会の新規規制基準を踏まえ追加した対策工事などのことです。

(これまでにお知らせした内容は、[こちら](#)でご覧いただけます。)

以上